令和6年第9回（定例）高砂市教育委員会 会議録

令和6年6月27日午後1時30分高砂市教育委員会を高砂市役所南庁舎2階会議室2において開会

出席者

教育長	玉野 有彦
委員	吉田 美香
委員	山名 克典
委員	神尾 信作
委員	吉屋 章

出席事務局職員

教育部長	木田 匠	教育推進室長	福本 典子
学校教育室長	平山 健二	学校教育室参事	矢野 仁之
教育総務課長	石原 里美	学校教育課長	福永 慎也
学校教育課主幹	高橋 千春	青少年センター所長	長谷川 竜平
教育総務課係長	長谷川 宏輔		

本日の会議に付した事件

議案

- 1 令和6年度高砂市「トライやる・ウィーク」推進協議会委員の委嘱について
- 2 令和6年度高砂市奨学金受給者の決定について
- 3 高砂市教育委員会事業後援について

報告事項

- 1 高砂市議会令和6年6月定例会の報告について
- 2 第4期高砂市教育振興基本計画の策定について
- 3 令和6年度の学校施設環境改善交付金の申請と令和5年度分の事後評価について
- 4 令和6年度就学援助認定予定者数について
- 5 高砂市教育委員会事業共催・後援について
- 6 庁内委員会委員の任命について

その他

- 1 7月行事予定について

議 事 議案1 令和6年度高砂市「トライやる・ウィーク」推進協議会委員の委嘱について

○教育長 議案1 令和6年度高砂市「トライやる・ウィーク」推進協議会委員の委嘱について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 今年度は、11月11日の月曜日から15日の金曜日の1週間で予定しており、7月2日に第1回目の推進協議会の開催を予定しております。1ページに委員名簿を示しております。

昨年の定例教育委員会で、3番と14番の商工会議所の委員がなぜ兼任になっているのかということで説明させていただきましたが、やはり今年度も兼任になっております。商工会議所の工業部会は、一応ありますが、実際に会合はなく、新年の最初に集まるというような形を取っているようです。こちらから大きな企業に対して「トライやる・ウィーク」の協力依頼文を商工会議所に持参すれば、それを渡していくことは可能だと聞いております。推進協議会には3番と14番を商工会議所ということで1つに統一してもいいかということも協議していこうと考えております。

○教育長 事務局より説明が終わりました。

御質問、御意見ございませんか。いかがでしょうか。

○委員 商工会議所を1つに減らすとしたら、実際に受け入れている、例えば薬剤師会とか、歯科医師会とか、そういう団体を、高砂市医師会だけじゃなく、入れたらどうかと思います。実際どのぐらい生徒さんを受けてますか。

○教育長 ちょっと休憩してください。

(休憩 午後1時35分)

(再開 午後1時44分)

○教育長 先ほど委員から医師会に限らず、薬剤師会、歯科医師会も入れて、もう少し受け入れ体制を充実させてはどうかという御意見をいただきました。トライやる推進協議会の中の団体に増やすこともよいのではないかというようなことを言われましたが、それについて課長から回答をお願いできますか。

○事務局 昨年度も商工会議所を1つに統一はどうかという意見もあり、先ほども委員から御指摘もいただきました。トライやる・ウィークを実施していく中で、学校が受け手を探すという負担の軽減にもつながるように、こちらとしましても適切というか、どのような団体が高砂市内にあり、協力していただけるのかということを探し続けて、委員構成は検討事項ということにさせていただきたいと考えます。

○教育長 他にトライやる・ウィークについて御質問、御意見ございますか。

○委員 コロナ前と比較して変わった取組はありますか。思いつくのはタブレットを増やすことですが。

○事務局 活動期間の動きは、特にコロナ以前と変わっている部分はないと思いますが、1人に1台の端末が配付されたことにより、以前は活動した成果を個人新聞等にまとめていましたが、今は端末等を使ってまとめたり、生徒同士で共有したりというような取組をしております。

○委員 荒井中学校は小さい本を作ってお礼を込めて配ったりしていますね。学校は何かの方法で受けてくれたところへは報告されていると思いますが、メールでのデータ送信だとあまり見てくれないような気がするのですが。

○事務局 外に出すものに関しては、例えばイオン高砂店でトライやる・ウィーク成果物を一週間弱開催させていただいたり、山名委員がおっしゃられたように、受け手に感想文等の冊子を配付させていただいたりしております。端末は成果物をまとめるのに利用して、最終的に表に出すときは紙などの媒体で出しています。

○教育長 よろしいですか。

それでは、議案1 令和6年高砂市「トライやる・ウィーク」推進協議会委員の委嘱については、御異議ございませんか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長 異議がないということで、原案どおり可決することといたします。

議 事 議案2 令和6年度高砂市奨学金受給者の決定について

○教育長 議案2 令和6年度高砂市奨学金受給者の決定について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 高砂市の奨学金は、経済的な理由により就学困難な市内在住の高校生等から申請を受け、生活保護及び所得基準以下、また、この教育委員会にて認められた方に月8,000円を支給するものです。

申請者内訳は、生活保護世帯14人、所得基準内85人、所得基準外14人、合計113人の申請があり、そのうち99人の方の当初認定支給対象となり、前年度の当初認定人数の106名と比べて今年度は7名減となっております。

所得基準を超える方14名の状況について記載しており、昨年度受給対象の方が所得の増額により今年度は基準外となっている方が6名います。

○教育長 事務局より説明は終わりましたが、御質問、御意見ございますか。

(休憩 午後1時52分)

(再開 午後2時00分)

○教育長 奨学金の受給者の決定につきまして、他に御意見、御質問ございますか。よろしいですか。

原案どおりで可決することとしますが、よろしいですかね。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長 御異議がなしということで、議案2につきましては原案どおり可決することに決定させていただきます。

議 事 議案3 高砂市教育委員会事業後援について

○教育長 議案3 高砂市教育委員会後援申請について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 6月19日に後援申請書を受け付けた第25回加印平和のための戦争展で、8月23日から25日までの間、加古川総合庁舎で行われ、子どもから大人までを参加対象者としたものでございます。

内容は、期間中、平和のための戦争展の展示を行うことと、記念講演や講演会が行われるものでございます。昨年も同様の後援申請があり、御協議をいただきました。その際に講演会で主義主張が色濃く出ている点と、子どもが参加した場合の影響の大きさについて御意見をいただきまして、特定の主義主張の均等を図ることを目的としている点で判断し、後援については不承認という決定をいただいたものでございます。

他市を確認しましたところ、2市2町の教育委員会が承認する方向で考えているという回答をいただいております。高砂市の方にも申請がありまして、確認しましたら、市としては国民の暮らしと政治を考えるというところのテーマにより特定の政治活動に関するものとして後援は行わない方向であるということです。

○教育長 事務局より説明がありましたが、御質問、御意見はどうか。

(休憩 午後2時03分)

(再開 午後2時14分)

○教育長 休憩中に協議をさせていただきましたが、タイトル、内容を見ていくと、政治色が強いのではないかという御意見、記念講演は平和憲法とお金ということで、どのような内容で講演されるのかが不透明な部分があるので、不安だという意見、それから、子供が参加して、聞いて、平和のことについて学習することもできるので、学校の国語の戦争教材も含めて読み聞かせ等ができることもあるので、そこは別に後援しなくてもいいというような意見が出ました。また、高砂市においては、政治活動の色が濃すぎるということで承認していないので、教育委員会も合わせて許可をしないということで進めさせていただきたいと思いますが、よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長 では、御異議ないということなので、議案3につきましては承認しないということで可決いたしました。

議 事 報告事項1 高砂市議会令和6年6月定例会の報告について

○教育長 報告事項1 高砂市議会令和6年6月定例会の報告について、よろしくお願ひいたします。

○事務局 新たな学校づくり推進審議会条例につきましては、新たな学校づくり推進計画を策定するに当たっての市長と教育委員会の役割について、どちらが主導権を握り、どのように計画を策定していくのか、統廃合の考え方や総合教育会議での協議について、教育振興基本計画への反映について、新たな学校づくり推進審議会の所掌事務の範囲や教育の適正な環境について、審議会の委員構成について、住民説明会の内容や学校運営協議会や市民、教員への意見聴取について、教育の本質の部分についてどうあるべきかという議論が必要であるという御意見、御質問がございました。

高砂市いじめ問題調査委員会条例につきましては、重大事態の把握についての学校と教育委員会の連携について、調査委員会の対応後の報告等の流れについて、調査委員会での調査対象の範囲や調査委員の任期について、重大事態発生を防止するために現在行っている予防の対策については条例に防止対策の表記がないことについて、子供の人権にも関わる問題として市全体での検討や連携について市長部局での調査委員会の設置について、市民や校園に対してこども窓口課の相談窓口や調査委員会設置に関する周知についてどのように行っていくのかということ、なぜ今この条例を提案するのかといった御質問がございました。

特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を定めることにつきましては、法に基づいた学校運営協議会の設置に至った経緯と委員への周知について、運用開始時期について、運営方法や客観性、公平性の担保について、委員報酬の日額の根拠について、地域の学校とともにあるまちづくりの進め方について、協議会の開催の条文がないことについてなどの御質問がございました。

補正予算議案については、保護者連絡ツールアプリのポイント等の運営についての御希望と地域の方々のアプリ利用について、不登校の問題対策推進事業のサテライト教室の運営方法についての御質問がございました。

代表質問では、新政会は、高砂市の教育文化に取り組む市長の学校教育の充実や生涯学習に対する投資に関する考え方や、主体性を育てる探求型の学びへの転換、教育大綱についての御質問でした。

民主クラブは、子どもたちの能力や生きる力をどのように育んでいこうとしているのか、特別教室の空調設備の導入やプール管理などをどのように考えるのかという御質問でした。

未来ネットは、学校の在り方、適正規模、適正配置について、市民に対する説明や説得する覚悟はあるのか、学校の在り方について現状の課題と検討の必要性について、給食費の無償化についての御質問がございました。

一般質問では、芝本議員からウェルビーイング教育を各学校に取り入れていくこと、学校内の事故の未然防止の取組、学びの中で主体性、自己決定をする機会を増やしていくこと、校内の安全マップの作成、危険箇所発見から修繕までの連携について、春増議員からは、これからの高砂市の不登校対策、不登校の親の会の周知、不登校に関するガイドブックの作成、スクールソーシャルワーカーの必要性について、大西議員からは、始業式を9月1日にし、教員の働き方や教育環境の推進、大阪関西万博へ子供を連れていくこと、坂本議員からは、全ての児童の放課後の居場所づくりや多様な体験、交流を進めることについての御質問がありました。

○教育長 報告事項1の説明が終わりました。御質問、御意見ございますか。

○委員 総合教育会議というものの位置づけがどんなふうになされている、どれだけ大きな権限を持っているのかというのが疑問に思いました。この前の総合教育会議に関してもデータも情報もあまりないような状態で突然にやって、会議そのものは1時間半ぐらいしかやっていない。それなのに議員さんが聞いてこられているのは総合教育会議の位置づけが重く受け取られていると思いました。

市長からの対応として総合教育会議の話し合いの時間の持ち方、データの情報の出し方、話し合った内容に結論も何も出さないような状態で、それがいかにもやっていますという形で、教育委員会の総意がここに反映されて、市長も理解していますというような形で今動かれてしまうと、ちょっと違うんじゃないかと思えます。

本当はもうちょっと話を詰めた形にして、一つ一つの項目に関しての話し合いをもっと深く掘り下げた形で議論を尽くさないといけないと思います。スケジュールの問題があったのかもわかりませんが、データの提供もなくて、数日後にやって、1時間半の状態ではテーマを3つ、4つやって、それで話し合っ、いかにもそれで教育委員会と意見の一致があって動いていると言われると困ります。議員さんが思われているイメージとすごく温度差があります。総合教育会議はもっと権限があって、決めたことは守ってくださいよということになりますね。

今まで言ったことも反映されているんだろうと思いますけれども、具体的には、予算にしても一生懸命言っても、スクール補助員とか、ケースワーカーとかの人員配置をなかなか認めてくれていますね。教育長は教育総合会議というのをどのように考えていますか。

○教育長 今回のやり方の総合教育会議は、本当に表面だけのことで値打ちはないと思うので、山名委員のおっしゃるように、議論の仕方を考えていきたいと思っています。あまりにも総合教育会議の値打ちを高めてきているから、少し重く感じています。

○委員 総合教育会議の価値観とか重さと実際の会議の内容にギャップがあり過ぎて、会議そのものの位置づけをもう1回見直さないといけないと思います。安易に短時間の中で市長と話し合っ、全てこれで決めていますというような形に取られ

ると、ちょっと違い、誤解を招くと思います。逆に言うと、責任を問われるような形になってくるのではないかと思います。

○委員　　そうですね。回数は増えるし、総合教育会議の中での発言の内容も今までとは全然違う形でしていかなければいけないと思いました。

○委員　　総合教育会議でいつも感じているのは、意見聴取をされているというイメージしかないことで、結論とか何もなくて、市長さんの考えも聞きたくてしつこく聞いていたのですが、市長さんも自分の考えをそんなにおっしゃらないです。みんなが意見を出して終わり、意見聴取の場みたいになっているので、会議として結論を出して、それによって動いていますという印象がちょっとありませんでした。

ですから、どういうふうに私たちは関わっているのだろうというのはすごく不安ですし、これから回数が増えるようなことがちらっと出ていましたので、回数が増えるのなら、1回、私たちはどういうふうに関わればいいんですかというのをお聞きしたいなと思っていたんですけれども、教育長さん、私たちはどういうふうに関わればいいんですか。

(休憩 午後2時32分)

(再開 午後2時54分)

議 事　　報告事項2　第4期高砂市教育振興基本計画の策定について

○教育長　　報告事項2　第4期高砂市教育振興基本計画の策定について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局　　第4期高砂市教育振興基本計画は、教育基本法第17条第2項に基づき、高砂市の教育の振興のための施策に関する基本的な計画として改正を行うものです。計画期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間で、今年1年間でこの計画を策定してまいります。

5月31日にプロポーザル方式によって株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所と契約し、現在、現状分析とアンケート調査の準備を進めており、計画骨子案の作成も併せて検討しているところです。アンケート調査は7月の初め頃から実施し、8月には第1回計画策定検討委員会にお諮りし、併せて総合教育会議においても御協議いただきたいと考えております。

先ほどのお話にもありましたように、7月の定例教育委員会や8月の臨時教育委員会などであらかじめ状況等を御報告してスムーズな流れで総合教育会議に臨めるようにしてまいりたいと考えております。

9月に計画素案を作成し、10月に第2回計画策定検討委員会を開催し、状況に応じ9月、10月に市長部局とのすり合わせを開催し、11月には計画素案を修正し、

パブリックコメントを実施し、1月、2月に計画策定検討委員会、総合教育会議等々を経まして3月に計画書完成と考えております。

計画策定検討委員会委員は12名で構成し、現在委嘱に向けて準備を進めており、構成は、学識経験者で以下記載のとおりでございます。

計画策定に当たっての方向性は3点あります。1点目は、第3期計画期間中の新型コロナウイルス感染症拡大等による教育活動の在り方の変化を受け、本計画策定に係るステークホルダーからの意見を大切にするため、アンケート調査の実施。2点目は、アンケート調査等による現状分析を基にして取組の体系化、重点化を図るとともに、指標を用いた継続的な評価を重視すること。この意味は、点検評価は、今までは教育振興基本計画の取組の中から選んで評価していましたが、今回からはコンパクト化して指標を一定化し同じものを5年間評価するという形を取りたいと考えています。3点目は、高砂市の教育が目指すべき方向性をより多くのステークホルダーとの共有ができるよう、読みたくなる、使いたくなる計画となるような計画書及び概要版の紙面構成とすることです。

アンケート調査を行う対象者を1から6まで列記しており、実施方法は、一部郵送はございますが、できるだけ端末やデジタル連絡ツール等々を用いてやっていきたいと考えております。アンケート内容は、対象者に応じ重視する項目を変えており、今までの第3期教育振興基本計画の重点テーマの状況の把握であったり、国や県の教育振興計画で新たな施策と考え方とかを踏まえ内容を検討しているところです。

○教育長 事務局より説明は終わりました。

御質問、御意見ございますか。

○委員 ウェルビーイングの向上という、言葉ですけれども、文部科学省ですかね、こういう言葉を急に使いだしたのはいつからですかね。

○教育長 国の教育振興基本計画の中に今回現れてきました。前々からこの考え方は出ていたんですが、今回色濃く出てきて、それを教育に生かしていけというようなことを国が言っています。

ウェルビーイングといったら、瞬間的な幸せじゃなくて、長い目で見て幸せになっていくというようなことですが、その要素としては地域や学校とのつながりとか、健康とか、利他性とか、自己肯定感とかいうようなことを今まで教育で必要としていたものを、学力だけじゃなくて、そういう見えない力も図ってあげてくださいね、それを高めていくというのが国の考え方になっております。

○教育長 ご意見ないですか。よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 教育委員さんには進捗状況を示しながら、御協力いただきますようお願いして報告を終えます。

議 事 報告事項 3 令和 6 年度の学校施設環境改善交付金の申請と令和 5 年度分の事後評価について

○教育長 報告事項 3 令和 6 年度学校施設環境改善交付金の申請と令和 5 年度分の事後評価について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 学校施設環境改善交付金について、目標の達成状況に係る評価の結果を報告するものです。昨年度全小中学校 16 校で実施しました W i - F i 工事と、荒井小学校と鹿島中学校の空調改修工事は今年 3 月に完了し交付金の交付を受けました。この交付金の工事が完了し、施設整備計画の内容が完了しましたら、事業事後評価表を国に報告します。

今年実施する工事のうち、松陽中学校と鹿島中学校の外壁改修工事、曾根小学校と中筋小学校の空調設備改修工事において同様の交付金を申請しています。こちらは昨年度の 12 月補正予算で計上し、6 年度繰越しで現在工事を行っているところで同様に、施設整備計画を作成して国へ提出することになっています。

○教育長 ありがとうございます。

御質問、御意見ございませんか。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長 報告事項 3 は了承します。

議 事 報告事項 4 令和 6 年度就学援助認定予定者数について

○教育長 報告事項 4 令和 6 年度就学援助認定予定者数について、事務局より報告をお願いいたします。

○事務局 認定の基準は、昨年度と同様でございます。当初の認定予定者は小学校 571 名、中学校 369 名、合計 940 名です。当初の認定率は、小学校は 13.2%、中学校は 15.8%となっております。

○教育長 事務局より説明が終わりました。

御質問、御意見ございますか。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長 報告事項 4 は了承します。

議 事 報告事項 5 高砂市教育委員会事業共催・後援について

○教育長 報告事項 5 高砂市教育委員会事業共催・後援について、報告をお願いいたします。

- 事務局 事業共催1番は学校教育課で、事業後援1番から9番までが生涯学習課、10番から14番までが学校教育課で、それぞれの日に申請を受けまして承認決定をしたものでございます。
- 教育長 事務局より説明が終わりました。
御意見、御質問ございますか。
- 委員 高砂マラソンは、開始場所は市外になっていますが、全部市外ですか。市内から市外に出て市内に入るのでは。
- 教育長 市外も行くよという意味で市外と書いています。そう捉えてください。
- 委員 11番の兵庫県小学校教育研究会というのはどういう団体なんですか。
- 事務局 これは兵庫県の先生方が中心となり、生活総合的な学習ということで集まった会で、順番持ち回りの会です。今年度高砂市が当番となっております。
- 委員 分かりました。
- 教育長 ありがとうございます。
ほか、ございませんか。よろしいですか。いいですか。
(「はい」と呼ぶ者あり)
- 教育長 報告事項5は了承します。
-

議 事 報告事項6 庁内委員会委員の任命について

- 教育長 報告事項6 庁内委員会委員の任命について、お願いいたします。
- 事務局 教育推進室長以下、各役職に対しまして、高砂男女共同参画プラン推進委員会などの委員の任命の承認依頼がございましたので、御報告いたします。
- 教育長 説明が終わりました。
御質問、御意見ございますか。よろしいですか。
(「はい」と呼ぶ者あり)
- 教育長 報告事項6は了承します。
-

議 事 その他1 7月行事予定について

- 教育長 続きまして、その他に移ります。7月行事予定についてです。事務局より説明をお願いいたします。
- 事務局 7月行事予定については自然学校、社会教育委員の会議の行事予定を入れさせていただいております。11日は教育委員の皆様による新任管理職への激励訪問がございまして、伊保南小学校、松陽中学校、荒井中学校、米田西小学校を対象に、朝8時45分から12時45分までを予定としております。どうぞよろしく願いいたします。
定例教育委員会は7月25日木曜日を予定しております。

- 教育長 ありがとうございました。
 質問とか意見、付け加えとか、ありますか。よろしいか。
- 事務局 8月1日に教科書採択に関しての臨時教育委員会を開催する予定です。
- 教育長 あと、よろしいですか。

令和6年6月27日 午後3時23分 教育長会議の閉会を宣告